

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公表番号】特表2011-529107(P2011-529107A)

【公表日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-048

【出願番号】特願2011-519114(P2011-519114)

【国際特許分類】

C 08 G 18/10 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】

リグノセルロース性複合体であって、

前記リグノセルロース性複合体を100質量部として、約75～約99質量部の量で存在する、複数のリグノセルロース性部分；及び

イソシアネート成分及び加工助剤の反応生成物（但し、該反応生成物は、前記複数のリグノセルロース性部分を一緒に結合し、そして前記リグノセルロース性複合体中に、前記リグノセルロース性複合体を100質量部として、約1～約25質量部の量で存在する）；

を含み、前記加工助剤が、ポリマーポリオール、polyharnstoff (PHD) polyols、ポリイソシアネート重付加 (PIPA) ポリオール、及びこれらの組み合わせから成る群から選ばれるグラフトポリオールを含むことを特徴とするリグノセルロース性複合体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】

ワックス成分を実質的に有しないことを特徴とする請求項17に記載のリグノセルロース性複合体。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項19】

前記グラフトポリオールが、ポリオールを含む連続相と、ポリマー性粒子を含む不連続相を含み、そして、ポリマー性粒子は、前記加工助剤中に、前記加工助剤を100質量部として、約5～約70質量部の量で存在することを特徴とする請求項17に記載のリグノセルロース性複合体。